

【知的障がい】 (オホーツク圏)

オホーツク管内

北海道北見支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒090-0807 北見市川東229番1
- 問 合 せ 先 TEL 0157-61-0047・61-0071
FAX 0157-61-0047
E-mail kitamishien-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.kitamishien.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「一人一人の児童生徒が自立し、社会参加するための教育を目指す」
☆生活する力 ☆協力する力 ☆はたらく力 ☆とりくむ力



□ 概 要

本校は平成21年に前身の「北海道紋別養護学校きたみ学園分校」から、北海道北見支援学校となりました。知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校で、小学部から高等部まで105名の児童生徒が在籍し、そのうち高等部には現在33名の生徒が在籍しています。知的障がいのある児童生徒の学習上の特性等を踏まえ、日常生活の指導や生活単元学習、作業学習を中心に、体力づくりや進路学習、交流及び共同学習などの学習に取り組み、卒業後の自立と社会参加を目指し、「生活する力、協力する力、はたらく力、とりくむ力」を養う教育を行っています。

■特色ある教育活動

高等部の重点教育目標

- 「青年期における心と身体の調和を保つ生徒を育てる。」
- 「地域の中で共に生きていける生徒を育てる。」
- 「自ら学び、働く意欲のある生徒を育てる。」
- 「生活を通して生きがいや楽しみを感じる生徒を育てる。」

【 総合的な探究の時間 】

進路学習、近隣高校との交流及び共同学習、外国語指導助手（ALT）との学習、学校周辺の清掃活動に取り組んでいます。

進路学習の主な活動内容は、進路先見学、学んだ内容をグループごとに壁新聞にまとめて学び合う壁新聞交流、進路面談、ようこそ先輩、進路先合同説明会、現場実習、現場実習報告会等です。進路希望調査を踏まえ、希望に応じてグループを編制し、3年間で、生徒が自分の進路について繰り返し探究し、進路決定ができるよう学習に取り組んでいます。

【 生活単元学習 】

学級菜園で育てた野菜を使って調理実習をしたり、冬に雪像を制作したりするなど季節に応じた取組を通して、コミュニケーション力の向上や興味関心が広がるように工夫をしています。防災についての学習では段ボールベッドを組み立てたり、高等部リーダー選挙への取り組みでは実際に投票をするなど体験活動を通して卒業後の実生活につながるような学習に取り組んでいます。

【 道徳 】

「高等部集会」で道徳目標を確認した後、グループに分かれより具体的に場面や状況にあった行動などを学んでいます。生徒が自分自身の意見を伝えたり、友達の意見を聞いたりして、お互いを尊重してより良い人間関係を構築する力の育成を図っています。



体育：プール学習



生活単元学習：歓迎会をしよう



作業学習：縫工班



生活単元学習：リーダー選挙



国語：書き初め



作業学習：木工班

■第1学年生徒の週時程表

【 普通学級・重複学級 】

	月	火	水	木	金	
1	日常生活の指導					
2	体育		道徳・ 高等部 集会	体育	生活単 元学習	
	国語／数学			国語 ／ 数学		
3	体育	生活単 元学習	作業 学習 ／ 総合的 な学習 の時間	作業 学習	音楽	
4						
5	LHR	作業 学習	美術	道徳	自立 活動	日常生活 の指導
6	日常生活 の指導			日常生活 の指導		
7	日常生活の指導					

■教育課程の特徴

生徒の実態に合わせ、日常生活の指導、生活単元学習、作業学習を中心に、体育、音楽、美術などの教科の学習や道徳、特別活動、自立活動、総合的な探究の時間を適切に配置し、関連付けながら、教育課程を編成しています。卒業後に社会自立・社会参加する上で必要とされる力が育まれるよう教育活動を展開しています。

- 作業学習
働くこと・作ること・育てることを喜び、主体的に取り組む態度を育てることを目標とし、「木工」「縫工」「グローバルワーク」「クラフト」「手工芸」「リサイクル」の作業に取り組みます。
- 国語、数学、自立活動
国語と数学では、生徒それぞれの実態に応じた個別また少人数グループでの学習を行っています。
自立活動では、自立と社会参加を目指し、生徒一人一人の障がいの状態や発達の段階、特性等を踏まえた学習課題を設定しています。
- LHR（特別活動）
学級レクなどの学級単位で行われる学習活動を通して、協力したり、友情を深めたしながら過ごしやすい居場所作りにつながる取組を行っています。

* 登校時間 8：45（月～金）
 * 下校時間 14：20（月・木）／15：10（火・水）／13：30（金）

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 一般就労～1名
- 福祉的就労～7名（就労継続支援A型2名 就労継続支援B型5名）
- 生活介護 ～8名

学校のWebページ



オホーツク管内

北海道紋別養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒094-0021 紋別市大山町3丁目14番地
- 問 合 せ 先 TEL 0158-23-9275
FAX 0158-23-9275
E-mail monyo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.monyo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

社会参加に向け、一人一人の児童生徒が豊かに生活する力を育てる

【 育成を目指す資質・能力 】

- ・生活の質を高め、健康な体をつくる上で必要な基礎的な知識を身に付ける
(知識及び技能)
- ・人との関わりを通して、興味・関心の幅を広げ、自分の思いや気持ちを伝える
(思考力・判断力・表現力)
- ・自分や相手の良さに気づき、仲間とともに自ら進んで活動に取り組む
(学びに向かう力、人間性)



□ 校 訓

「明朗」「協調」「強健」「勤労」

□ 概 要

本校は昭和60年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、地域の教育資源を積極的に活用した体験活動を通して、卒業後の自立と社会参加を目指し、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性」に関わる資質・能力を養うための教育を行っています。寄宿舎では、「身辺処理」「人とのかかわり」「集団生活での役割」を柱に、基本的生活習慣の定着や社会性の育成を図っています。

■特色ある教育活動

<高等部の学部目標>

『地域社会の中で他者と協働し、自ら考え、充実した生活を送ることができる力を養う』

【 少人数のよさを生かしたきめ細やかな教育 】

個別の指導計画に基づき、生徒の実態や学習内容を踏まえ、目標達成に向けて適切な学習集団を編制し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導を行います。

【 地域の教育資源を活用した学習 】

地域や地元企業と連携し、委託された製品を作成する作業活動等を通して、将来の社会参加につながる基礎的・基本的な知識や技能、態度を身に付けます。

【 文化芸術活動の充実 】

音楽や演劇等の鑑賞活動、美術作品や陶芸作品の制作・体験活動などを通して、生徒の興味・関心や経験の幅を広げ、将来の有意義な余暇活動の充実につなげます。

【 寄宿舎と連携した学習 】

学校生活と寄宿舎生活を通して、基本的生活習慣や社会性、健康で安全に生活する力の育成を目指しています。生徒の実態に応じて、学校と寄宿舎が課題を共有した日常生活の指導や自立活動に取り組んでいます。



生活単元学習：公共施設の利用



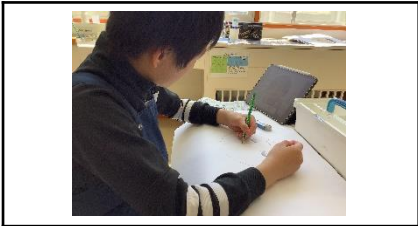
作業学習：縫工作業



外国語指導助手との交流



保健体育：水泳



美術：学級旗デザイン



現場実習：陶芸作品作り

■第1学年生徒の週時程表

【 普通学級／重複障がい学級 】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導 保健体育（体力づくり）				
2	国語・数学				
3	作業 学習	生活単元 学習	作業 学習	生活単元 学習 ／美術	作業 学習
4					
5	日常生活の指導				
6	作業 学習	音楽	作業 学習	保健 体育	LHR
7	SHR				

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

登校時間 8：40（月～金）

下校時間 14：10（月～金）

■教育課程の特徴

日常生活の指導や生活単元学習、作業学習を中心的な学習に位置付け、生活に結び付く内容を学ぶ国語、数学などの教科別の学習、総合的な探究の時間、特別活動によって教育課程を編成しています。また、生徒のよさや課題を踏まえた自立活動の指導を行います。道徳教育では、自立心や自律性、思いやりの心が育まれるよう、日常生活の指導や生活単元学習における指導のほか、教育活動全体を通して指導します。

□ 生活単元学習

生活年齢にふさわしい家庭生活や社会生活、人間関係の形成、集団参加に必要な知識や技能、社会性が身に付くよう指導しています。

□ 作業学習

紙工や染物、環境整備などの作業活動を通して、社会参加につながる基礎的・基本的な知識や技能、態度が身に付くよう指導しています。

□ 自立活動の指導

気持ちの安定を図るため、生活や活動の見通しを視覚的に確認したり、自分で落ち着ける方法を活用したりする力を身に付けるとともに、それらを生かし、教科の学習の目標に向かって自ら取り組むことができるよう日常生活の指導において指導しています。

□ 現場実習

生徒の実態に応じて、卒業後の生活や就労につながる体験的な学習を行い、自己決定に基づく進路の選択肢を広げています。

・第1学年：校内実習・紋別市内の事業所

・第2学年：紋別市内の事業所

・第3学年：卒業後利用予定の事業所や福祉サービス等

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 福祉的就労～3名【生活介護】
- 就労移行支援～1名
- 就労継続支援B型～1名

学校のWebページ



オホーツク管内

北海道紋別養護学校ひまわり学園分校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※ 原則として中学部から在籍している方を対象とした特別支援学校です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒099-0622 紋別郡遠軽町生田原安国302番地2
- 問 合 せ 先 TEL 0158-46-2171
FAX 0158-46-2171
E-mail monbetsuyougohimawari-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.monbetsuyougohimawari.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「社会参加に向け、一人一人の児童生徒が豊かに生活する力を育てる」
- 校 訓
「明朗 協調 強健 勤労」



- 概 要
本校は障がい児入所施設「ひまわり学園」に入所している学齢児の就学を保障する目的で昭和54年に開校した、知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。
高等部は平成12年に設置されました。生徒の様々な障がいの特性に応じて教育課程を編成し、高等部における学習の充実（現在）と卒業後の生活の充実（将来）を目指し、教育を行っています。

■特色ある教育活動

高等部の教育目標

- 生活の質を高め、健康な体をつくる上で必要な基礎的な知識を主体的に高められる生徒
【知識及び技能】
- 人との関わりを通して、興味・関心の幅を広げ、自分の思いや気持ちを伝えられる生徒
【思考力・判断力・表現力】
- 自分や仲間の良さに気づき、仲間とともに主体的に活動に取り組む生徒
【学びに向かう力、人間性】

【 生徒一人一人の課題に応じた学習 】

国語では漢字や平仮名などの読み書きや物語の読解など、数学では数・形の学習や簡単な計算、お金を使った学習など、生徒の課題に合わせた学習を毎日行っています。また、生徒が自分の力で課題に取り組むことをねらいとした自立課題に取り組んでいます。

【 進路学習・現場実習 】

社会で働くことや卒業後の生活に見通しをもつため、また、作業学習等で身に付けた力を実際の職場や福祉事業所で発揮する機会として、現場実習を行っています。現場実習を通して、職場や施設の雰囲気に触れ、卒業後の進路選択の幅を広げたり、社会で働くために必要な知識や技能、態度を学びます。

【 交流及び共同学習等、地域資源を生かした体験的な学習の充実 】

卒業後の生活を見据え、地域社会や人との関わりを広げるために、地域の成人施設利用者との交流や高校生との交流及び共同学習を行っています。また、地域の公共施設の利用や福祉事業所の体験利用、環境美化活動として、地域の施設や駅の清掃活動など地域資源を有効に活用した教育活動を行っています。さらに、被災地の福島を元気づけるため、ひまわりを栽培して種を送り届ける「ひまわりプロジェクト」の活動に参加しています。



高等部体育大会



現場実習



作業学習：名刺づくり



音楽：身体表現（よさこい）



環境美化活動（安国市街）



保健体育：ユニホック

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級（重複学級）】

	月	火	水	木	金
	日常生活の指導				
1	自立活動				
2	国語・数学				
3	作業学習		生活単 元学習	HR 活動	音楽
4	作業学習（自立活動）				保健体育
5	保健体育	自立活動		作業学習	生活単 元学習
6		音楽		作業学習 （自立活動）	

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施
 ※1ヶ月の最初の週の月曜1時間目は「全校朝会」、最後の週の月曜1時間目は「児童生徒会活動」を行います。

□ 作業学習

生徒一人一人の実態や進路希望等を考慮して、個々の力が発揮できる学習に取り組んでいます。
 ・普通学級：継続して働く力の育成を目指しています。
 主な学習内容…校内の清掃、紙工、農耕など
 ・重複学級：道具の扱い方や手順を覚え、一人で取り組む力を培っています。
 主な学習内容…校内の清掃、紙工など

* 登校時間 8：30（月～金）
 * 下校時間 14：05（月）／13：15（水）
 15：00（火・木・金）

■教育課程の特徴

作業学習、生活単元学習、日常生活の指導を中心的な学習に据え、生徒一人一人の教育的ニーズに基づいた自立活動の指導を適切に関連付け、教育課程を編成しています。また、社会生活を送る上で必要な内容を学ぶ国語や数学などの教科学習や総合的な探究の時間、特別活動の学習を行っています。道徳については、他の学習と関連付けながら中心的な学習のほか、教育活動全体を通して学習しています。

□ 生活単元学習

現在の生活や将来の生活を題材に、生活に必要な知識や技能を習得することを目指しています。主に校外学習や宿泊研修、見学旅行等の事前・事後学習のほか、職業と家庭的な内容（情報、調理）や社会科的内容（選挙制度等）、理科的内容（各種実験等）などについて学習しています。

□ 自立活動の指導

体力の向上や社会性の育成を目指し、月曜日から金曜日の1時間目に自立活動の指導を位置付け、生徒個々の目標に応じて、ストレッチやランニング、アスレチックサーキットなどの活動に取り組んでいます。その他の自立活動の授業では、個別の目標や生徒の課題に応じて、他者とのコミュニケーション能力を高める学習の一環として、ソーシャルスキルトレーニングやロールプレイングなどの活動に取り組んでいます。

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 一般就労～1名【医療・福祉】
- 福祉的就労～1名【生活介護】
- その他～1名

学校のWebページ



オホーツク管内

北海道紋別高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒099-5172 紋別市渚滑町元新1丁目152番地1号
- 問 合 せ 先 TEL 0158-24-1120
- FAX 0158-24-1121
- E-mail monbetsukoutouyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.monbetsukoutouyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標 「明日の社会に貢献し 心豊かにたくましく
そして しなやかに生きる人間を育成する」

- 校 訓 「明朗・誠実・全力」

□ 概 要

本校は平成9年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。知的障がいのある生徒が学校生活や社会生活を送る中で職業自立・社会自立を目指した教育を行っています。管内の農林水産系の企業や高齢者福祉施設等、地域資源を活用しながら、積極的に現場実習や交流学习などの学習活動を取り入れています。寄宿舎では、基本的生活習慣や集団生活におけるルールやマナーの定着を図っています。



■ 特色ある教育活動

学校教育目標

「明日の社会に貢献し 心豊かにたくましく そして しなやかに生きる人間を育成する」

【 職業学科と普通科について 】

職業学科では、各学科の作業学習を中心に学び、将来の職業自立に必要な基礎的・基本的な能力を高め、実践的な態度を育てます。

普通科では、知的障害特別支援学校における各教科の学習内容を発展的に学び、将来の家庭生活や社会生活、また、職業生活に必要な基礎的・基本的な能力を高めます。

【 園 芸 科 】

野菜及び草花の栽培などの学習を通して、勤労の体験を豊かにし、その意義を理解させるとともに、職業自立など社会自立に必要な基礎的・基本的な能力及びしなやかに生きる力を高め、実践的な態度を育てる実習をします。

【 窯 業 科 】※第2・3学年のみ

セラミック製品の製造などを通して勤労の体験を豊かにし、その意義の理解を深めるとともに、職業自立に必要な基礎的・基本的な能力を高め、実践的な態度を育てる学習をします。

【 木 工 科 】

木材等を主原料とする製品の製造等を通して勤労の体験を豊かにし、その意義の理解を深めるとともに、職業自立や社会自立に必要な基礎的・基本的な能力を高め、実践的な態度を育てる学習をします。

【 家庭総合科 】

縫工・羊毛・喫茶サービスなどを通して、生活に関連する職業の意義と役割の理解を深めるとともに、職業に必要な能力と実践的な態度を育成する実習をします。

【 普 通 科 】

教科等横断的な学習を通して、将来の職業自立など社会自立に必要な基礎的・基本的な知識や技能を高めます。



園芸科：作業学習



窯業科：作業学習



木工科：作業学習



家庭総合科：作業学習



普通科：職業



現場実習

■第1学年生徒の週時程表

【園芸科】

	月	火	水	木	金
1	総合的な学習の時間／委員会	作業学習	美術	作業学習	作業学習
2	保健体育				
3	音楽		保健体育		
4	理科	国語	数学	情報	保健体育
5	国語	家庭		LHR	
6	数学	外国語			

【普通科】

	月	火	水	木	金
1	総合的な学習の時間／委員会	職業	国語	理科	社会
2	保健体育		外国語	職業	美術
3	社会		保健体育		
4	家庭	国語	数学	音楽	保健体育
5	国語	数学			LHR
6	数学	情報			

* 登校時間 8:35 (月・火・水・木・金)
 * 下校時間 15:35 (月・火・水・木)
 / 14:25 (金)

■教育課程の特徴

【職業学科】

作業学習を教育課程の中核に据えて、より職業生活に必要な能力を高める教育課程を編成しています。作業学習を通じて、仕事をする上で必要な知識・技能・態度や習慣を培うことをねらいとし、所属する学科の実習を主に3年間履修します。教科別の指導も各学科で行っています。

【普通科】

教科別の指導を教育課程の中核に据えて、幅広く学習し、社会生活に必要な能力を高める教育課程を編成しています。特に、時間を多く設定している職業を通じて、仕事をする上で求められる基礎的な知識・技能・態度を学びます。

□ 現場実習（各科共通）

全教育課程を通じて身に付けた力を確認する場として実施しています。自己の在り方や生き方を考え、主体的に進路選択や卒業後の生活に利用できる内容を指導します。

現場実習期間：1学年1週間（年2回）
 2学年2週間（年2回）
 3学年5週間（年1回）

□ 教科別の学習

各教科の学習を通して、卒業後の生活に必要な力を習得するため、実生活に即した内容を中心に学習します。

□ 自立活動の指導

自己の課題に気付き、その課題克服に向け、自己理解・他者理解を深め、将来にわたって生きる力を身に付けられるよう、時間における指導はもとより、各教科との連携を図り、全教育活動を通じて指導します。

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 就職（就労継続支援A型含む）15名
 【O飲食業3名、O製造業5名、O小売業3名、O清掃業1名、O介護業1名、Oその他2名】
- 福祉的就労（就労移行支援／就労継続支援B型）6名
- 地域活動支援センター1名

合計22名

学校のWebページ

